

実績評価書

平成16年8月

政策体系	番号	
基本目標	1	安心・信頼してかけられる医療の確保と国民の健康づくりを推進すること
施策目標	10	患者の多様なニーズ等に対応した医療関連サービスの提供を促進すること
		患者の多様なニーズや医療機関経営上のニーズに対応した医療関連サービスの適切な提供を促進すること
担当部局・課	主管部局・課	医政局経済課医療関連サービス室
	関係部局・課	

1. 施策目標に関する実績の状況

実績目標1	多様なサービスを提供する事業者の医療関連サービス市場への参入促進を図ること				
(実績目標を達成するための手段の概要)					
病院給食について、新たに基準を設けた上で外部委託を認めるなど医療関連サービス事業の業務委託に関する法令の整備等を行い、患者の多様なニーズ等に対応した医療関連サービスの適切な提供を促進する。					
(評価指標)	H11	H12	H13	H14	H15
市場規模(業務委託施設数)	19,712	-	-	21,182	-
業者数(受託事業者数)	5,198	5,389	5,592	5,695	5,759
(備考)					
市場規模は、3年毎に行う「医療施設調査(静態・動態)」における給食(患者用)、滅菌(治療用具)、保守点検(医療機器)、清掃の各業務を委託している病院数ののべ数によっている。(H8は18,581)					
業者数は、これら事業者の都道府県登録数、医療関連サービス事業者関連団体の会員数等の合計である。					

2. 評価

(1) 現状分析

現状分析
医療関連サービス事業の受託事業者数は毎年増加しているところであり、事業者間の競争を通じたサービスの質の向上を図り、それに伴い、多様な医療関連サービスの効率的な提供を図っていく必要がある。
医療機関における業務の見直しや受託事業者の増加により、今後も、医療関連サービス事業の業務委託は進むものと考えられる。

(2) 評価結果

政策手段の有効性の評価

医療関連サービス事業の業務委託については、原則として医療機関の判断により自由に行えることとする一方、特に医師等の診療等に著しい影響を与える業務については、そのサービスの質の確保を図る観点から、法令に基づき必要最小限の規制を行うことを通じて、事業者の市場参入を促進することは、患者の多様なニーズ等に対応したサービスの適切な提供を図る上で有効である。

政策手段の効率性の評価

医療関連サービス事業の業務委託については、特に医師等の診療等に著しい影響を与える業務についてのみ、そのサービスの質の確保を図るため、法令に基づき、必要最小限の規制を行っているところであり、このような土俵の上での多くの事業者による競争を通じて、患者の多様なニーズ等に対応した医療関連サービスが提供されることは、効率的である。

総合的な評価

近年、医療関連サービスが民間事業者によって提供され、その事業者数も毎年増加していることから、事業者間の競争を通じて多様な医療関連サービスが効率的に提供されていると考えられ、実際に評価指標である各種業務委託を行っている施設数も例年増加していることから、施策目標の達成に向けて進展があったと評価できる。今後とも、医療機関や患者のニーズの多様化等に対応しつつ、医療関連サービス事業の業務委託の更なる進展を図るため、引き続き施策を推進する必要がある。

評価結果分類	分析分類

3. 特記事項

学識経験を有する者の知見の活用に関する事項

なし。

各種政府決定との関係及び遵守状況

なし。

総務省による行政評価・監視等の状況

なし。

国会による決議等の状況

なし。

会計検査院による指摘

なし。